

はじめに

奈良女子大学大学院人間文化研究科では、平成17年度より、文部科学省「魅力ある大学院教育」イニシアティブ『生活環境の課題発見・解決型女性研究者養成』教育プログラムを推進してきました。文部科学省事業の終了した平成19年度4月以降においても、教育プログラムの定着、改善、充実にむけ、本教育プログラムを学内措置で継続しています。

本教育プログラムにおける創造性豊かな自立した研究者育成のために、自主活動推進の教育支援企画の一つとして、「大学院生の自主企画による研究セミナー」を実施してきました。これに加えて、今年度は新たな支援企画として、学生が海外から研究者を招いて研究セミナーを実施、あるいは学生が海外に渡航して研究セミナーを開催、という本学大学院生の国際的な自主的活動を視野に入れた「学生による国際的な研究セミナー」の支援企画を、本学国際交流センターとの連携により実施しました。

本支援企画は、本学の大学院生が自ら企画、広報、運営し、実施後に総括、報告を行うという、研究セミナーの主催にかかる一連のプロセスへの意欲的な取組みに対する支援とその環境の整備です。支援の内容は、①研究セミナー講師の招聘にかかる講演謝金と旅費の助成、②研究セミナー開催時の映像機器の貸出、③広報のためのポスターやチラシの印刷、④報告書の冊子体製版などの支援、さらに「学生による国際的な研究セミナー」では、⑤学生の海外渡航費の助成です。

平成19年度には、本学大学院生に対して前期・後期の2回にわたり「自主企画による研究セミナー」の公募を行った結果、前期2件、後期3件の応募を受け、これら5件の本学大学院生の手による研究セミナー実施に対して支援を行いました。また、「学生による国際的な研究セミナー」には、博士後期課程の学生を対象とする授業科目「研究プロジェクト演習」の受講生で組織した1件と、公募に対して応募を受けた1件について、本学大学院生による主体的な企画・運営のもとで、台湾ならびに中国の内モンゴルにおける国際的な研究セミナー開催に対して助成を行いました。

本冊子は、これら「大学院生の自主企画による研究セミナー」・「学生による国際的な研究セミナー」の実施に関する総括と報告を、企画にかかわった大学院生が自らまとめ、出版するものです。ぜひ内容をご拝読いただき、本支援企画の成果と実績に対するご評価をいただきたく宜しくお願い申し上げます。

最後に、本研究セミナーにおける講演をご承引いただきました講師・登壇者の皆様、研究セミナーにご参加いただいた皆様に心より謝意を申し上げます。

2008年3月

奈良女子大学大学院人間文化研究科
「魅力ある大学院教育」イニシアティブ

『生活環境の課題発見・解決型女性研究者養成』教育プログラム

教育プログラム推進委員会委員長 今井 範子

教育プログラム推進委員会副委員長・国際交流担当 杉峰 英憲

教育プログラム推進委員会自主活動支援部会部会長 藤原 素子

目 次

● 大学院生の自主企画による研究セミナー

「シルクロードのひとびと Part 2 —新疆におけるウイグルの生活と文化の今昔—」	
2007年10月27日開催	
企画：鷺尾惟子，ライラ・ママティ，古澤文	・・・ 1
「質的調査の実践的手法 話の聞き出し方、まとめ方 ~プロの記者に学ぶ~」	
2007年10月13日開催	
企画：元根朋美，角広涼子	・・・ 39
「質的研究の記述法を探る」	
2007年12月1日開催	
企画：佐藤令奈，座主果林	・・・ 55
「社会学的研究におけるエスノメソドロジー的無関心」	
2007年12月12日開催	
企画：山本智子	・・・ 73
「いかに活かすか再チャレンジ！ —社会人大学院生に求められるもの—」	
2007年12月21日開催	
企画：室谷雅美，柳井妙子	・・・ 87

● 学生による国際的な研究セミナー

「日本と台湾のまちづくり研究交流セミナー 地域資源を活かしたまちづくり」	
2007年12月15日開催(台湾・東海大学)・研究プロジェクト演習	
報告会：2008年2月19日開催	
企画：柳井妙子，天野桂子，室谷雅美，河合由香里	・・・ 91
「モンゴル民族の生活と住居 —内モンゴル自治区における天幕住居「ゲル」の現状と今後—」	
2008年1月6日開催(中国内モンゴル自治区・内蒙古大学)・国際交流センター連携	
報告会：2008年2月19日開催	
企画：野村理恵，姫茹(ヤル)	・・・ 119